

製品安全データシート

1 頁

製造者情報

会社 : 株式会社 東興化学研究所
住所 : 〒 168-0071 東京都杉並区高井戸西 1-18-8
担当部門 : 品質管理部
電話番号 : 03-3334-3481 FAX 番号 : 03-3334-3484
緊急連絡先 : 03-3334-0781 FAX 番号 : 03-3334-3484
改定日 2024 年 10 月 4 日
確認日 2022 年 7 月 4 日

整理番号 No A0034

製品名 (化学名、商品名等) フタル酸塩標準液

危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

引火性液体 : 区分外

自然発火性液体 : 区分外

健康に対する有害性

急性毒性 (経口) : 区分外

急性毒性 (経皮) : 区分外

皮膚腐食性・刺激性 : 区分外

眼に対する重篤な損傷・

眼刺激性

特定標的臓器/全身毒性

(単回曝露) : 区分外

(反復曝露) : 区分外

環境に対する有害性

水性毒性 (急性) : 区分外

水性毒性 (慢性) : 区分外

物質の特定

単一製品、混合物の区分 : 混合物

化学名 : フタル酸水素カリウム水溶液

成分及び含有量 : フタル酸水素カリウム 0.05mol/kg・H₂O (1.0%)

化学式又は構造式 : C₆H₄(COOK)(COOH)

官報公示整理番号 : 化審法番号 3-1342

CAS No. : 877-24-7

国連分類及び国連番号 : 国連基準に該当せず。

使用目的

pH 測定用標準液

応急処置

- 眼に入った場合 : 流水で15分以上洗浄する。
皮膚に付着した場合 : 多量の水で十分に洗い落とす。
吸入した場合 : 空気の清浄な場所へ移し鼻をかませ、うがいをさせる。
飲み込んだ場合 : 直ちに口の中をよく洗い、水を飲ませる。
-

火災時の措置

- 消化方法 : 周辺火災の場合は速やかに容器を安全な場所に移す。移動が不可能な場合は容器及び周囲に散水して冷却する。
消化剤 : これ自体は燃焼しない。
使ってはならない : 特になし。
消火剤
-

漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 作業の際は必要に応じて適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項 : 特になし。
回収、中和 : 漏洩したときは紙、布などで拭き取る。
-

取り扱い及び保管上の注意

- 取り扱い
技術的対策 : できるだけ皮膚などに付けないようにする。
保管
適切な保管条件 : 容器は密封して冷暗所に保管する。
安全な容器包装材料 : ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレン等
-

暴露防止処置及び保護措置

- 設備対策 : 蒸気又はヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
管理濃度 : 設定されていない。
許容濃度 日本産業衛生学会（2009年版） : 設定されていない。
ACGIH（2009年版） : 設定されていない。

保護具

- 呼吸器用の保護具 : 特に必要ない。
手の保護具 : 必要に応じて保護手袋を着用する。
眼の保護具 : 必要に応じて保護眼鏡を着用する。

物理的及び化学的性質

外観	:	無色透明の液体。
pH	:	4.01
臭い	:	無臭
沸点	:	約 100 °C
融点	:	約 0 °C
密度	:	約 1.0g/ml
溶解度	:	水に自由に混合。
その他	:	—

安定性及び反応性

安定性	:	通常の使用においては安定である。
避けるべき条件	:	日光、熱

有害性情報

急性毒性	:	経口：区分外 経皮：区分外 吸入（蒸気）：データ不足のため分類できない。 吸入（粉塵・ミスト）：データ不足のため分類できない。 多量に経口摂取すると悪心を起こすことがある。 （フタル酸水素カリウムとして） ラット 経口 LD50>3200mg/kg モルモット 経皮 LD50>1g/kg
皮膚腐食性・	:	区分外
刺激性	:	皮膚に対する刺激性は少ない。
眼に対する重篤な	:	データ不足のため分類できない。
損傷・刺激性	:	眼に対する刺激性は少ない。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	:	呼吸器感作性：データ不足のため分類できない。 皮膚感作性：データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	:	データ不足のため分類できない。
発がん性	:	データ不足のため分類できない。
生殖毒性	:	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器・	:	単回曝露：データ不足のため分類できない。
全身毒性	:	フタル酸水素カリウムの約 1 % 水溶液であり有害性は特にない。 反復曝露：データ不足のため分類できない。 フタル酸水素カリウムの約 1 % 水溶液であり有害性は特にない。
吸引性呼吸器有害性	:	データ不足のため分類できない。

環境影響情報

生態毒性

魚毒性 : 水生毒性（急性）：データ不足のため分類できない。
水生毒性（慢性）：データ不足のため分類できない。

残留性／分解性 : データなし。

土壌中の移動性 : データなし。

廃棄上の注意

残余廃棄物 : 多量の水で希釈して、アルカリで中和した後、下水に流す。又は、都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理をする。

容器 : 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

輸送上の注意

国内規制 : 適用法令なし。

国連分類 : 分類基準に該当しない。

輸送の特定の安全対策及び条件 : 輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ落下、転倒、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

適用法令

労働安全衛生法 : 該当しない。

毒物及び劇物取締法 : 該当しない。

化学物質管理促進法 : 該当しない。

その他（引用文献等）

15710の化学商品 化学工業日報社

化学大事典 共立出版社

※ 危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取り扱いには十分に注意してください。

※ 記載内容は情報を提供するもので、いかなる保証をなすものではありません。

※ 注意事項は通常の取り扱いを対象としたもので、特殊な取り扱いの場合には用途、用法に適した安全対策を実施の上お取り扱い願います。